

白鶴美術館 春季展

映し、写しと 文様の美

～白鶴コレクションにみる東洋のころ～

本館

いだしみずりんじさい かんたうのしんしん しやまびらう
「石清水臨時祭年中行事騎射図屏風」
六曲一双の内左隻 部分 冷泉為恭筆 江戸時代
展示期間：4/5(火)～5/8(日)

「鑑」金文

ばん ちんたいひん
「蟠螭文大鑑」 春秋～戦国時代

上「鍍金面文帯四神四獣鏡」 後漢時代
下「漢円鏡」「白鶴帖」(天)
明治40年発行より

美術品としての絨毯

文様の今昔

新館



Mogan, Caucasus (モーガン, コーカサス)
20世紀初期

鑑

2016年 3月1日(火)～6月5日(日)

休館日 月曜日 但し3月21日(振替・月)は開館、3月22日(火)を休館

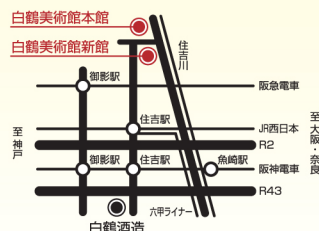
開館時間 午前10時～午後4時30分(但し入館は午後4時まで)

催し 講演会 5月1日(日) 演奏会 5月5日(祝・木) 新館レクチャー 5月15日(日)

美術に親しむ会 4月24日(日) ワークショップ 5月中の毎週日曜日

アート・トーク(スライド解説) 3月13日・27日、4月10日、5月8日・22日、6月5日の
各日曜日

入館料 大人：800円 65歳以上・大学・高校生：500円
中・小学生：250円
(大人・大学・高・中・小学生団体20名以上は2割引)



- 阪神御影駅、JR住吉駅から市バス38系統鴻森台行「白鶴美術館前」下車
- 阪急御影駅から北東約1km(徒歩15分)
- 阪神高速道路3号神戸線、大阪方面：魚崎出口から1.5km 姫路・明石方面：摩耶出口から6km
- 無料駐車場あり(大型バス可)

公益財団法人
白鶴美術館
HAKUTSURU FINE ART MUSEUM

(問い合わせ先)

〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手6-1-1

TEL.FAX.078-851-6001

<http://www.hakutsuru-museum.org/>

HAKUTSURU

映し、写しと文様の美 ～白鶴コレクションにみる東洋のこころ～

本館

今回は当館所蔵品を「うつし」のテーマでみてまいります。

映す道具である「鑑」^{かがみ}の字形は、大きな水甕をのぞきこむ人^{かたど}を象つたものとされます。そして鑑物と称される歴史書の「鑑」のように、映しみる機能から転じて、認識し手本とする意味を含んでいます。

美術作品もまた、その時代の技術や思想・造形感覚を示す鏡といえるでしょう。すなわち、異なる素材であっても同じ文化における共通の表現や造形は、その思想を反映します。また、多くの優れた作品は、人びとの憧れの対象となり、手本となって写されました。

こうした美術の「写し」には、筆の正確さを求めた絵画の模写や、失われた材料や技術の再現を求めた近代の正倉院模品のように、先人の表現を学び、捉えようとしたものがあります。また、地域・時代・年代を経て伝播する類似の形状や文様、また古典の物語絵などにもみられるように、変容しつつ伝わることも「写し」がもたらす文化であるといえます。

この展示では「思想を映す」・「形を写す」というふたつのテーマを基に、個々の作品を作成された時代に照らしてご覧いただけます。東洋のこころを写す古美術、その写しもまた、「鑑」であり、それをみつめる私たちの文化を豊かにするものである、といえるのではないのでしょうか。



せいじ ぼたんもんおぼし 明時代
「青磁牡丹文大鉢」 明時代



のぎめ てんちくちやわん 南宋時代
「木目天目茶碗」 南宋時代



はくどうかいじゅうぶどうきよう 唐時代
「白銅海獸葡萄鏡」 唐時代



イスファハン、ペルシア中央部
(アーマッド工房)20世紀初期



ろうかくじんぶつもん らでんこうす 元時代
「楼閣人物文螺鈿盒子」 元時代
展示期間：4/19(火)～6/5(日)



すゐえのだんちやう 森川杜園作 明治時代
正倉院模品 「墨絵弾弓」 森川杜園作 明治時代



しやうてんどうし えきや 江戸時代 展示期間：4/5(火)～5/8(日)
「酒天童子絵巻」 下巻 江戸時代 展示期間：4/5(火)～5/8(日)



フェルテック、アナトリア中央部
19世紀中期

講演会

日 時：5月1日(日) 午後2時～3時30分
講 師：和泉市久保記念美術館館長
大阪芸術大学教授 河田 昌之 氏
演 題：「行事とその画題 ― 年中行事と行事絵を中心に ―」

演奏会

日 時：5月5日(祝・木) 午後2時から
演 奏：尺八・解説 岸本 靄山 氏
箏・十七絃・三絃 グループ「はなすいれん」
テーマ：「楽に映し、楽を写す」

新館レクチャー

日 時：5月15日(日) 午後2時～3時30分
講 師：神戸大学大学院教授 宮下 規久朗 氏
テーマ：「西洋絵画に見る絨毯」

美術に親しむ会

日 時：4月24日(日) 午後1時30分～3時30分
テーマ：「映す美術・写された美術」 講師：当館学芸員

アート・トーク

日 時：3月13日・27日、4月10日、5月8日・22日、
6月5日の各日曜日 午後2時～3時
テーマ：「展示品の魅力を語る」
当館学芸員によるスライド解説

ワークショップ

日 時：5月中の毎週日曜日 午後1時～4時
「拓本～紙と墨で写すかたち」
「リバーシブル?!～作ってわかる屏風の裏技～」
指導員：神戸学院大学人文学部 大原ゼミ